



出会ってみよう！国際協力
JICA 関西のプログラム
あなたの教室と世界を
結びます



学校や地域での国際理解、主体的で対話的な学びの実践に
世界を知ろう、考えよう
開発教育支援事業のご案内

グローバル教育

主体的で対話的な学び
(アクティブ・ラーニング)

キャリア教育

国際教育

ESD
(持続可能な開発のための教育)
SDGs
(持続可能な開発目標)

平和教育
人権教育

環境教育

修学旅行
スタディツアー
フィールドワーク
(事前学習等)

What's JICA?

JICA は国際協力機構(Japan International Cooperation Agency) のことです。

日本が実施する政府開発援助(ODA)の二国間援助を行う実施機関で、世界 150 以上の国と地域、日本国内 15 ヶ所の国内拠点で開発途上国の課題解決に取り組んでいます。

開発途上国が抱える課題に対し、日本が持っている解決策(資金や資材、技術や経験、人材等)を活用してその国のより良い国づくりに協力しています。

JICA は日本と開発途上国との「架け橋」となって、国際協力事業に取り組んでいます。





JICA 関西の開発教育支援プログラム

世界を知って、 考えて、行動しよう！

グローバル化が進む世界では、地球に住む私たち自身が自らのライフスタイルを見つめなおし、国際社会が抱える課題に取り組むことが急務となっています。

JICAでは、日本政府が行う開発途上国における国際協力事業で培った知見・経験・人材を活用し、日本の地域や学校の教育現場で「国際協力への理解と参加促進」「未来の地球を担う人材育成」を目的に開発教育支援事業を実施しています。

国際社会における開発問題を知り、自分で何ができるのかを考え、自ら行動できるグローバル人材の育成の一助として、JICAの開発教育支援事業をご活用ください。

Contents

教室に世界がやってくる！

JICA 国際協力出前講座 ----- 4

日本の国際協力を知ろう！

JICA 関西訪問プログラム ----- 5

世界を見つめよう！

**JICA 国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト** ----- 6

国際協力を体感！

職場体験 ----- 7

授業で使える！

先生のお役立ちサイト ----- 7

世界に飛び立つ！

教師海外研修 ----- 8

授業に役立つ！

開発教育指導者研修 ----- 9

お申込み・お問い合わせ ----- 9

教室に世界がやってくる！

JICA国際協力出前講座



開発途上国の状況や日本との関係、国際協力の必要性などを、JICA 海外協力隊（ボランティア）経験者等や、開発途上国からの研修員（留学生）がみなさんのところに向いてお話しします。現場で活躍した人だからこそその貴重な体験談やエピソードをお届けします。

国際教育や総合的な学習の時間だけでなく、人権、平和、環境、多文化共生、キャリアなどの学習や学校内外での教員研修などにご活用ください。

■申込からの流れ

こんな講師いるのかな？

- 下の問い合わせ先へまずはご相談ください。
- 依頼が決定したら、ウェブサイトに掲載の申込書で正式にご依頼ください。

どんな授業にしようかな？

- 担当者が依頼に沿った講師を紹介します。
- 当日までに、講師と打合せを行ってください。
- よりよい学習のために、事前・事後学習などを行えばさらに効果的です。

いよいよ当日!!

- 実施後は、評価アンケートを提出してください。

内容 ご希望に応じた講師を紹介します。講師との連絡調整に時間を有するので、少なくとも1か月前までにご依頼ください。特定の国、地域、専門的なテーマのご依頼には対応できない場合がありますので、ご了承ください。

対象 学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など

実施日 通年

費用 講師の謝金・交通費につきましては、原則としてお申込み団体のご負担をお願いしています。謝金については、団体・学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。単価基準がない場合は、目安としては一人当たり1時間4,600円（JICA 規程に基づく）です。

問合せ先 JICA 関西国際協力出前講座担当

TEL. (06)4860-7700 FAX. (06)4860-7701

E-mail : jicaksic-ed1@jica.go.jp

kinki-ed@joca.or.jp

出前講座



URL

体験者の声

JICA ボランティア体験談を聞きました。

- 実際に開発途上国で活動した人でしか撮れない写真や動画を見せていただき、リアルな現場の話が聞けてよかったです。
- 途上国の状況や子どもたちの様子がわかり、その国を身近に感じました。

日本の国際協力を知ろう！

JICA関西訪問プログラム



▲ JICAプラザ関西(広報展示室)で、見て！触って！感じる！



▲ 開発途上国での体験談を聞く



▲ 月替わりのエスニック料理の一例
(団体人数によってはランチボックスで提供します)

国際協力の国内の現場である JICA 関西を訪問し、国際協力や異文化について学び、日本と世界とのつながりに気付くプログラムをご用意しています。

学校の社会見学や修学旅行、教員研修などにも多くご利用いただいています。

■基本的なプログラム(120分)

- 10:00-10:30 JICA 事業概要説明 (世界の国の現状や、JICA の仕事について知ろう！)
 - 10:30-11:30 JICA 海外協力隊体験談 (JICA ボランティアの活動や派遣された開発途上国の様子を知ろう！)
 - 11:30-12:00 JICA 関西 館内案内 (施設見学、民族衣装体験など)
- *その他、エスニック料理ランチ (有料) などのプログラムもご用意できます。

内容 上記のプログラム (120 分) を基本としてご用意していますが、ご要望に応じてアレンジが可能です。まずは、ご相談ください。※校外学習などであっても個人からの依頼には対応しません。特定の国、地域、専門的なテーマのご依頼には対応できない場合がありますのでご了承下さい。

対象 学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など

人数 最大 80 名程度まで対応できます。1 名～5 名などの少人数の場合は対応できない場合がありますのでご了承下さい。

実施日 通年 (月曜日～金曜日、土日祝を除く 10:00-17:00)

費用 無料

問合せ先 JICA 関西訪問プログラム担当

TEL. (06)4860-7700 (直通) FAX. (06)4860-7701 Email:jicaksic-ed1@jica.go.jp

訪問プログラム



URL

体験者の声

JICA 関西に行きました。

- 日本がなぜ国際協力を行っているのかが分かりやすく説明して頂きました。
- 日常生活の中でも問題意識を持つこと、自分にできることは何かを見つめることができました。
- 普段あまり触れたり感じたりすることがない途上国や国際協力という事柄に関して考える機会となりました。

世界を見つめよう！

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト

国際社会の中で自分ができることは何か、また、自分たち一人ひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的にエッセイコンテストを実施しています。

開発途上国の状況、友達との会話や学校の授業、本や新聞などを通して感じたこと、自分自身の体験から知ったことなどを基にエッセイを書いてみませんか？

上位入賞者は、JICA が活動している開発途上国へ赴き、実際にその国の現状を見て聞いて感じる体験をすることができます(※)。夏休みの課題として、是非ご応募ください。

※実施時期等の概要は参加対象者に別途連絡します。



■高校生の部 外務大臣賞

「寄り添った支援を一步ずつ」

大阪府立箕面高等学校2年 箱田 晴大さん

頬が痩せこけ、肋骨がくっきりと浮き出た弱々しく小さな体。心が傷ついた子どもたちの瞳からは輝きが失われ、生きる希望が感じられない。小学三年生の時に見た一冊の本に載っていたアフリカの子どもたちの写真だ。自分よりも小さな子どもたちが、自分の知らないところで、こんなに辛い生活をしていることに衝撃を受けたことを今でもはっきりと覚えている。だからといって、当時の私は漠然と「平和になればいいのに」と思いながらも、行動に移すことはなく、日本で当たり前のように学校に通い、友達と遊び、ご飯を食べ、安心して家族のもとで暮らしていた。

中学三年生、高校進学選択の時。将来何がしたいのかを考えた時に、あの日見た写真と気持ちを思い出した。「アフリカの子どもたちを助けたい。」以前より現実味がある。海外進学をして開発学を学ぶため、グローバル科のある高校へ進学した。

自分が人を助けることはできるのか自信はなく不安だったが、「とにかく行動を起こす」が私のモットーである。先生の勧めで、イギリスのマンチェスター大学がオンラインで行う「開発途上国における公衆衛生」という講義を受講した。そして、ケニアで発生している水不足や水質汚濁の原因が、自分の生活に関係しているという思いがけない事実を知り、動揺した。現代の生活では、決して手放すことのできないスマートフォンやパソコン。そこには、衛生環境が整っていない鉱山で採られたレアメタルが使用されている。環境整備が十分に行われていないため、鉱山から有毒な物質が川や海に流れ出る。それによって、水質汚濁やその他の公害が発生し、多くの人々が犠牲になるというわけだ。

この講義をきっかけに、「安全な生活用水を確保できるよう、ケニアに水道設備を建設したい」と考えた私は、友人と学生任意団体を発足し、クラウドファンディングによる水道設備の建設に協

力してくれる方を探すためにNPO・NGO団体にメールを送り続けた。が、高校生の活動を支援する余裕も時間もないという理由で断られ続けた。そんな時、唯一、協力してくれると連絡くれたのが認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンだった。メールには、「社会問題を自分ゴトとして考え、アクションを起こす社会を若者自身が創り上げていくことを応援します」と書かれていた。よし、一歩前進。支援を募るため、ウェブサイトを作成し、YouTubeにも動画を投稿した。こうして集まった資金を現地で活動している方々に託し、自身の目標であった水道設備の建設が行われる運びとなった。

しかし、「本当にケニアの人々の想いに寄り添っていたのだろうか」私は、自問自答した。水道設備の建設により、川や海の水を用いて自然と共存して生きるという本来あった伝統の継承を無視してしまっていないだろうか。ならば、水質汚濁自体をなくせばよいのではないだろうか。そのためには原因となるレアメタルを使用している電子機器を買わなければならない。いや、それでは鉱山で働く人々の仕事を奪うことに繋がりがねない。しかもこの便利さを知ってしまった私を含む社会が、電子機器のない生活に戻ることは不可能だろう。どうすることが彼らのためになるのか、答えがみつからない。だがきっと、一つだけの模範解答はないのだろう。

行動し、失敗する。そして、何度も考えながら新しい方法を試みる。そうすることで、今まで見ることができなかった問題や解決策に出会うことができると私は考える。支援する側、支援される側ともに持続可能な生活を送ることができる均衡のある本質的な支援を見つけたい。そのために、開発学を真剣に学び、ケニアに足を運ぶ。そして、実際に現地の人々の想いを聴き、彼らの生活を守る手助けをする。それが私の目標である。

対 象 全国の中学生、高校生

内 容 テーマは毎年変わります

詳 細 JICA 地球ひろば HP の JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテストのページをご確認ください。

⇒<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>

エッセイコンテスト



URL

国際協力を体感！

職場体験

学校現場で多く取り入れられているキャリア学習をお手伝いします。

※ 学校からのお申込のみの対応になります。

JICA 関西の仕事体験しながら、国際協力を身近に感じてもらうプログラムです。

- 内容** JICA プラザ関西等の広報素材（webページや展示品）の作成など
対象 関西二府四県の中学生（のみ）



- 実施日** 毎年 11 月の時期
(兵庫県教育委員会が主催するトライやる・ウィークの実施時期に合わせて受け入れます)

- 費用** 無料（交通費、食費、活動期間中の保険加入料は依頼元でご負担ください。）

- 詳細** JICA 関西 HP の職場体験の受入れについてのページをご確認ください。

⇒<https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/job/index.html>



URL

体験者の声

将来なりたい職業の視野が広がりました。

- いままでの自分の知っている世界をもっと広げ、自分の知らない世界があることに気付くことが出来ました。
- 今回の体験を通して、改めて世界中の人とつながる仕事がしたいという気持ちが強くなりました。

先生のお役立ちサイト

JICA 地球ひろばによる教員向けのお役立ちサイト「開発教育・国際理解教育サイト」では、授業の実践やより一層の充実を目指す教員の皆様のために、様々な情報を提供しています。

授業の指導案や実践事例、教材、国際社会の情報等を掲載していますので、ぜひご覧ください。

- 開発教育・国際理解教育サイト**

⇒<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/index.html>



URL

国際理解教育・開発教育支援教材（例）

教育現場で役立つ教材を無料で提供しています。ホームページからもダウンロードすることができます。

- 学校に行きたい！



開発途上国の子どもたちの問題や国際協力について考える

- つながる世界と日本



ごはん編、ヒト編、モノ編、エネルギー編それぞれの分野で日本と世界のつながりを紹介

- 共につくる私たちの未来



SDGsの基本を日本の国際協力や各国の子どもたちの紹介も交えて学ぶ

世界に飛び立つ！

教師海外研修

開発教育／国際教育に取り組んでいる先生を、国際協力の現場へ派遣し、その経験や学びを活かし、児童や生徒への授業を実践していただきます。

海外研修では、実際に海外の現場に足を運ぶことで、文字や映像ではわからない開発途上国の現状を目の当たりにすることができます。現地の学校訪問、JICA 事業の現場視察や現地の人の生活状況を調査し、帰国後の授業実践に向けた材料収集を行います。



- | **対 象** 開発教育・国際教育に関心のある学校教員および教育委員会指導主事
- | **募集期間** 4月上旬～5月中旬
- | **派遣人数** 関西2府4県から10名程度
- | **事前研修** 6月～7月 | **海外研修** 8月上旬頃
- | **事後研修** 8月 | **所属先での授業実践** 8月～12月 | **授業実践報告会** 翌年2月頃
- | **費 用** 【JICA 負担】 海外渡航費、海外旅行保険料、空港使用税など
【参加者負担】 現地宿泊代、食費、旅券取得時に必要な費用、予防接種料など
- | **詳 細** 派遣国、応募要項など詳細は JICA 関西 HP 教師海外研修のページをご確認ください。



体験者の声

盛りだくさんのプログラムで、毎日新しいことを学び感じられる研修であった。

- 今後の教師生活の中においても、いろいろと振り返り、見つめなおし、また新たな視点を持つことができました。こうした JICA の制度のおかげで、個人ではできない研修ができたことは、教師生活では得ることのできない研修であったと思います。多くの先生方にも伝え、薦めていきたいと思っています。



授業に役立つ！

開発教育指導者研修

開発教育って？参加型学習って？

どんな授業をしたら、効果的に子ども達に伝えることができるんだろう？

そんな先生方のために、地球上で起こる様々な問題や異文化を理解するための教材体験や、参加型ワークショップの実践方法を学ぶセミナーです。JICA 関西では、関西の各府県で実施しています。



- 内容** 開発教育／国際教育実践者の講演、ワークショップ体験など
- 対象** 学校教員、教育関係者、学生など開発教育・国際教育に関心のある方々
- 実施日** 各府県で開催時期や内容詳細は異なりますので、JICA 関西 HP イベント情報をご確認ください。
- 費用** 無 料（交通費、食費は参加者負担）

イベント情報



URL

体験者の声

国際教育・開発教育の歴史と発展がよく分かりました。

- 実践的な方法が学べ、これから実際の授業で活用できると思いました。
- いろいろな世代の方との議論を通じて、平和や国際問題、持続可能な社会について考えることができました。
- 実践的ロールプレイから今の日本の問題も見えて、とても面白かった。
- ワークショップではたくさんの方々の考えを知ることができ、大変参考になった。

本パンフレットに関する各種お問い合わせ

JICA 関西（独立行政法人国際協力機構 関西センター）市民参加協力課 開発教育支援事業担当

住所：〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

TEL. (078)261-0384（直通） FAX. (078)261-0357

E-mail: jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp

[問合せ受付時間：土・日・休日を除く 10時から12時まで／13時30分から17時まで]

開発教育



問合せメール



あなたの街の JICA デスク 国際協力推進員

国際協力推進員は「地域の JICA 窓口」として、2 府 4 県で国際協力のご相談に応じています。
国際協力をしてみたい、JICA ボランティアに参加したい、開発教育について相談に乗ってほしい…
など、お近くの国際協力推進員にお気軽にご相談ください。



- JICA滋賀デスク
配置先:公益財団法人滋賀県国際協会
TEL: (077) 526-0931 FAX: (077) 510-0601
- JICA奈良デスク
配置先:奈良県外国人支援センター
TEL: (0742) 81-3830
- JICA京都デスク
配置先:公益財団法人京都府国際センター
TEL: (075) 681-1131(直通) FAX: (075) 681-2508
- JICA和歌山デスク
配置先:公益財団法人和歌山県国際交流協会
TEL: (073) 435-5240 FAX: (073) 435-5243
- JICA大阪デスク
配置先:公益財団法人大阪府国際交流財団
TEL: (06) 6966-2400 FAX: (06) 6966-2401
- JICA兵庫デスク
配置先:JICA関西 市民参加協力課
TEL: (078) 261-0384(課直通) FAX: (078) 261-0357

(写真提供: 川崎芳勲)



独立行政法人国際協力機構 関西センター (JICA 関西) 市民参加協力課
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
電話: (078)261-0384(課直通) FAX: (078)261-0357
URL: <https://www.jica.go.jp/kansai/>



2023 年 8 月発行